

かわらばん

妻入り

事務局

新潟県出雲崎町

教育委員会

☎0258-78-2250

FAX 78-4559

盛大に開催！

【天神さま講演会】

1月28日（木）から2月25日

（木）まで、北国街道妻入り会館にて町内有志の方からお借りした天神さまの像・掛け軸の展示会を開催しました。

また、2月11日（木）には、展示会の開催を記念して、前柏崎市立博物館長の三井田忠明氏を講師に迎え、天神さまについての講演会を開催しました。

当日は60名余りの方が参加され、町内の方だけでなく、新潟市や柏崎市から来られた方もおり、非常に有意義な講演会となりました。

た。

平成22年度も天神さまの展示会と講演会を開催する予定です。で、お楽しみに！

天神さまを身近にして

出雲崎町教育委員会

教育長 佐藤 亨

古くから篤く信仰されてきた天神信仰について、三井田忠明さん（元柏崎市長）より興味深く話を聞くことができた。

天神さま（菅原道真公）の祭祀は、言い伝えやその土地の習俗により、いろいろな形態があるが、出雲崎や柏崎でも、やはり独自の文化を有していることがうかがえる。



道真公の天神画や天神坐像は様々であると説明を受けたが、祭壇やお供え物も各家の心が表れている。それだけ天神さまは各家庭に崇め敬われてきた証であろう。

道真公が生前、学術や歌人に秀でていたことから、江戸時代ころから「学問の神様」として多くの人に崇拝されている。

一方、対立する藤原時平の陰謀により太宰府に左遷され、失意のうちに死んで、怨霊として恐れられた言い伝えも関心を引く。

道真公の死後、京では疫病（悪

性の伝染病）が流行するとともに、日照りが続き、時の皇子の相次ぐ病死や清涼殿落雷事件などがあり、それらは道真公の怨霊と恐れられ、ついには、朝廷は道真公の罪を許し、贈位することとなる。

町内・多聞寺さんにも「菅公像」を答めた結果、罰があたり死者が出たという話が語り伝えられているのも興味深い。

講師の話聞きつつ頭をよぎったのは、北野天満宮や湯島天満宮などを訪れた際の、ご神牛（臥牛）や梅の木、合格祈願・学業成就の絵馬札の光景である。道真公と牛の関係は、公が丑年生まれとか、牛を慈しんでいたとか諸説ある。道真公が好きだった梅の木にも色々言い伝えがある。ともあれ、今もって道真公盛んなり、である。

有名な道真の「東風吹かば 匂ひをこせよ梅の花 あるじなしとて春な忘れそ」と同様、天神さまは、これからも継がれていくことであろう。

屋号と家印について

調査ご協力をお願い

会長 渡辺 常侃

屋号・家印など日本の伝統的な「しるし」は、昔商家をはじめ山村漁村などにおいて、広く用いられてきたもので、それはきわめて重要な生活文化の一つでありました。

私たち海岸地域において、天正四年（一五七六）上杉謙信公によつて作成された歴史史料「出雲崎村御水帳」が残されています。それには当時の町勢が詳細に記入されており、家は三百十七軒あり、家の名はいずれも屋号で書かれています。その屋号を職業的・地名的・その他に分類すると左記のとおりです。

職業：納屋（漁業）・大工・桶屋・曲師屋・酒屋・酒屋・紺屋・萬屋・糺屋・鍛冶屋など五十二種を数えます。

地名：能登家・備前屋・京屋・伊勢屋・山城屋・越中屋・奈良屋・秋田屋・和泉屋など三十種で、その出身地がうかがわれます。



（家印と屋号看板）

その他：てん屋・布袋屋・つる屋・橘屋・玉木屋・柏屋・大黒屋・泊屋など四十九種あり、その中で極めつきは井鼻に、てくてん・ござんちん・しっぽさなど先人が付けた昔からの屋号で大変ユニーク

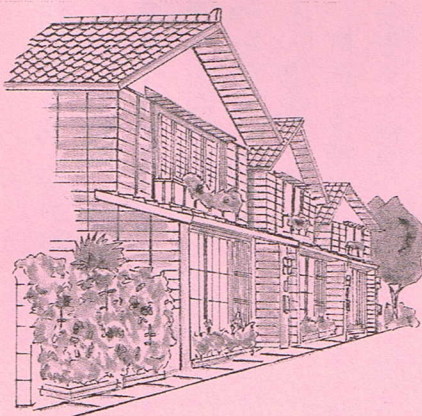
なものがあります。

一方家印については、老舗や旧家では主に漆器の什器類などに入れました。また漁業者や農家では作業用の道具類に、それに一般の家は下駄や日常的に使用の木製品に、それぞれ「焼き印」を押して自分の所有物として、大切に使用していました。

以上のように昭和中期までほとんどの家が、毎日の生活の中で当たり前のように、お互いが屋号で呼び合い、家印の入った道具類などを使用してきたのですが、生活や意識が時代の変化とともに、屋

号ではなく名字で呼ぶようになり、家印の道具類なども消失してきて残念に思います。私たちの街並の中に生き続けてきた屋号や家印は、その家々それぞれの歴史を秘めた貴重な伝統的文化だと言えるのではないのでしょうか。

そこで当協議会では、この屋号・家印など伝統的な「しるし」を再確認し、家々の生いたちなど歴史文化を知り、地域発展のための重要な資源とするために、今年度調査を行いたいと思います。何分にもご協力のほどよろしく願います。



妻入りの街(三十八)

住吉町 磯野 猛

人物往来 佐藤 耐雪(二)

今年は良寛さまが亡くなられて百八十年です。そして良寛さまの調査研究で出雲崎通いをされた糸魚川市の相馬御風さんが没後六十年とされます。またその御風さんに橘屋の歴史や良寛さまの資料を提供された出雲崎の佐藤耐雪さんが亡くなられて五十年となります。

良寛記念館ではこの御三方の偉大な足跡を顕彰すべく六月十日ころより展覧会をやることになりました。良寛さまの百八十年、御風さんの六十年、耐雪さんの五十年。一つの節目として多くの良寛さまの愛好家の方達の理解を深める一つの方ばかりとも思われます。

良寛さまにかかわる遺墨や資料は、どこよりも良寛記念館には豊富にあります。相馬御風さん、特に佐藤耐雪さんのものは余り人

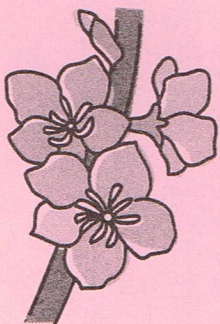
目に触れることもありません。耐雪さんの生涯をかけて作られた「出雲崎編年史」や「良寛遺墨集」など、その他著作集や良寛堂建立資料、良寛記念館建設に関する資料などもあります。その中でも数少ない耐雪さんの俳句を書きとめ

られた短冊などは珍しいものです。耐雪さんの四女、近藤知子さんのお書きになられた「鎌倉独り言」を読ませていただき耐雪さんの人柄が私共にもひしひしとその温かな人間味が感じられますが、若いころの自転車のハンドルを握って



おられる写真に少し驚かされました。さっそうとしたスタイルで洋服の似合うダンディな青年の写真で、私たちの見なれた宗匠幅にステッキの和服の耐雪さんとはあまりにもイメージが違っているからです。

近藤知子さんは、元北越銀行の頭取、そして元全国良寛会会長をつとめられた近藤啓四郎さんの奥様で先年九十才で天寿を全うされました。その長女タカ子さんは耐雪さん(祖父)の記録をまとめられた方で、サッカー・アルビレックス新潟の監督をされた反町康治さんのお母さんです。展覧会会場では耐雪さんの話などを語っていただくようお願いしております。



つねひねに・・・

妻入り会館・来訪者のひとこと

○ていねいな説明をしていただき、

ありがとうございました。レン

タサイクルで回っていたので、

お茶がとてもおいしかったで

す！これからも保存に力を入れ

て、がんばって下さい。

(大阪府)

○10年ほど前に、出雲崎の街並保

存に尽力された鈴木豊吉様にお

世話になった者です。中越沖地

震後初めて訪れましたが、穏や

かな様子に安心しました。

東京芸大の日本画専攻の学生に

よる街並スケッチが再開されま

すことを心よりお祈りいたしま

す。(神奈川県川崎市)

○古い歴史のあるまちなみをこれ

からも守り続けて下さい。

(石川県)

○色々と説明をしてくださりまし

た。四季を通し見学したいと思

います。

(見附市)

お知らせ

萱森直子の

ごぜ唄をふたたび！

越後ごぜ唄公演のお知らせ

今年も越後ごぜ唄公演を妻入り

会館にて開催します！

長岡・高田系統のごぜ唄を直接

伝授された唯一の伝承者であり、

「飾らない荒々しさと剛直な唄い

ぶり」「最もごぜ唄らしいごぜ唄」

など、高い評価を得ている萱森直

子さんを迎え、様々な民謡・俗謡

を披露します。

下記のとおり開催しますので、

皆さんの来場をお待ちしています。

※ごぜ唄とは・・・

三味線を弾き、歌を唄って門付

(かどづけ)をしながら、山里を

巡行し暮らしを立てた、盲目の女

性旅芸人。近年では、昔話や世間

話の伝播者としても注目を集めて

いる。

【日時】

平成22年5月8日(土)

午後1時30分から

【会場】

北国街道妻入り会館

【入場料】

チケット 500円

(チケットは妻入り会館にて

販売しています)

【主催】

越後ごぜ唄をきく会

代表 内藤久吉・渡辺常侃

【後援】

出雲崎町教育委員会・NPO

法人ねっとわーくさふらい・

越後出雲崎天領の里・出雲崎

妻入りの街並景観推進協議会

【問合せ】

渡辺常侃(井鼻)

TEL:78-2081

あとがき

昨年から今年にかけて大雪になりました。除雪が終わってやっと疲れが取れてきたと思ってたら、あつという間にまた同じ状態になり、がっかりしたのは僕だけでしょうか。しかし、ようやく春が来ました。

待ちに待った春です。ふきのとうも出てきましたし、桜のつぼみもふくらんできました。農家の人はこれから畑や田んぼの準備で忙しくなると思いますが、お体を大事にして下さい。冬の疲れがまだ残っていますよ。ちよつとぬるめのお風呂にいつもよりちよつと長く浸かると疲れが取れると聞いたことがあります。試してみたいかがででしょうか。又好きな花の香りをかいでも効果があるようです。そこで好きな花を植えましょう。気分も良くなるし、花が咲く楽しみも出来ます。花いっぱい町の町になれば良いと思います。

石井町 納谷 稔